

令和7年 防災功労者 内閣総理大臣表彰 受賞  
[防災思想の普及]

第29回(令和6年度)防災まちづくり大賞 総務大臣賞  
「スマホゲーム防災×観光アドベンチャー『あの日』制作と防災学習プログラムの開発」



大船渡でしか体験できないスマホを使用した  
災害時の避難体験と日常の備えで自らの命を守り抜く

好奇心を喚起し  
「主体的に行動する態度」を育む  
今までにない体験プログラムを提供

## 「あの日」防災学習プログラム 提案書

Ver. 2025.07.11

※プログラム内容につきましては定期的に見直しを図り洗練させてまいります。  
お問合せの際はご覧の本資料の「Ver.」名をお伝えいただけるとスムーズです。



与えられた話を聞く、ただ現場を見るだけでは  
得られないことがある

自らが主人公になってクイズ型ドラマに没入し、  
震災の様子を追体験せよ

ここで体験し、気づき、身に付け  
**自らの命を守り抜いてほしい**

そして、参加者ひとりひとりが社会の中心となり、  
地域の防災力を高められる大人になることを期待します

プログラム共同開発者：東北大学災害科学国際研究所 准教授 柴山明寛



防災×観光アドベンチャー あの日～大船渡からの贈り物～、「あの日」防災学習プログラムをトータルで共同開発・監修

静岡県出身、2006年工学院大学院建築学専攻博士課程修了。2007年独立行政法人情報通信研究機構、2008年東北大学災害制御研究センター助教を経て、2012年から東北大学災害科学国際研究所災害アーカイブ研究分野准教授。地震災害を地震工学、地域防災、情報通信などの様々な視点から防災・減災方法を研究。東日本大震災以降、震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」に従事し、震災の復旧復興支援、南海トラフの防災対策、災害記録・記憶の伝承、防災観光に繋げる研究を行っている。

受賞等：IBM Faculty Award 2013、科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（振興部門）（2015年）を受賞

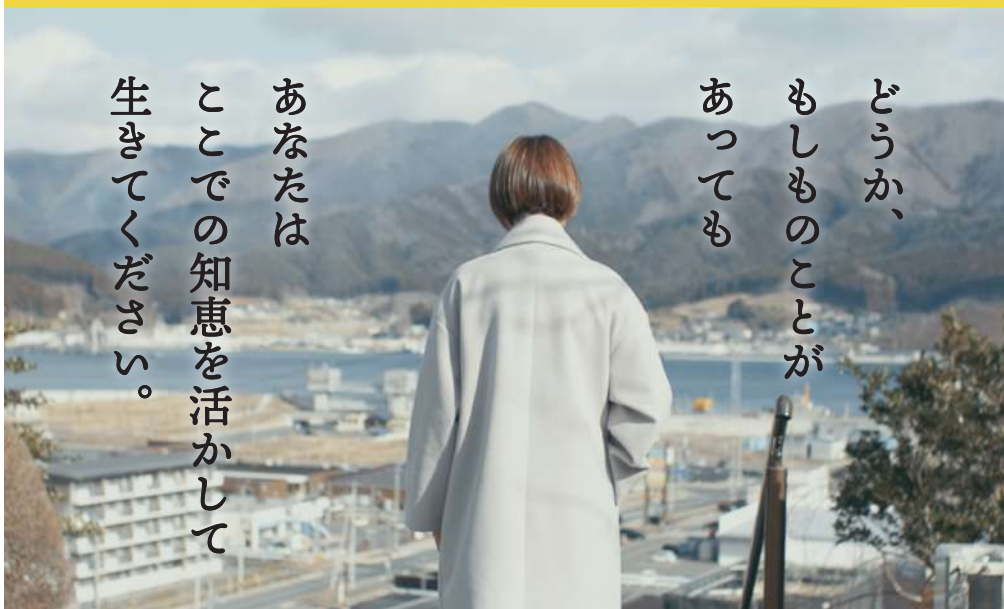


## 防災×観光アドベンチャー「あの日」で学べること

2022年7月17日 待望のリリース！  
震災から11年、今だから語れる。  
大船渡からあなたへの贈り物

スマートフォンを片手に、復興したまちなかを  
歩き、津波体験を疑似体験できるゲーム

現地でしか体験できません。  
ぜひ、いらして下さい！



震災を経験した人が伝える「いきる知恵」がQRコードボックスとなり、街のあらゆる場所に設置されます。このボックスを探し集めることにより、震災の様子を追体験し、本物の「いきる知恵」を学べます。

防災×観光アドベンチャー  
～大船渡からの贈り物～

あの日



監修:東北大学災害科学国際研究所柴山明寛/制作:パスキュー ルサルボ/音楽・プロモーション:盛岡ClubChange  
/開発:内丸座/実施主体:キャッセン大船渡/楽曲提供:FUNNY THINK/協力:大船渡市 東海新報社 村田プリント  
サービス みちのく震録伝 マイヤ さいとう製菓 大船渡プラザホテル 鎌田水産 おおふなと夢商店街

## 自らの、体を動かし、考えて、判断する もしもの時の「決断力」を養うことが重要



### 【経験「生きる知恵」に学ぶ】

震災を体験した人たちが伝える「いきる知恵」を獲得できる

大船渡地域の17名がスマートフォン上に声と画像で登場。東日本大震災発生時に体験したこと  
を伝えます。それぞれの経験そのものが教訓であり、有事の際に生きるために活かすべき「生きる  
知恵」として獲得することができます。  
震災を生き抜いた体験をその方々が本人の話し言葉で語りかけます。



### 【事例「わかれ道」に学ぶ】

避難するときの葛藤やジレンマを感じることができる

QRコードを読み込み獲得できるのは「いきる知恵」だけではありません。時どき「わかれ道」が出題さ  
れます。これが出たら、東日本大震災被災地でのヒアリング調査をもとにした、**災害時に実際に目  
の前で起こる可能性のある出来事をクイズ形式にした「わかれ道」に回答しなければなりません。**  
早く避難をした方が良いはず、でもクイズに答えなくてはならない。(なかには答えづらい設問も)  
平時では味わうことのできない葛藤やジレンマを、安全に感じていただけます。



### 【実際に体感することで学ぶ】

自分の足で、自分のペースで実際の避難経路を体感できる

このゲームではガイドによる先導はありません。全て参加者自らのペースで行ないます。  
ゴール地点はこの地域の指定緊急避難場所です。  
はじめて訪れた場所で大きな地震に遭遇したが、指定緊急避難場所がわからない。全てはそこから  
はじまります。そして自分で判断しなければなりません。  
実際に「あの日」が来たとしたら、そこにガイドはいないのですから。

自分の意思で動き、自らの操作でゲームを進める  
自分ごととして劇的な深度で学びが加速します



あなたは死んではならない  
→率先避難者の育成



津波からの避難時間はあまりに短い  
→迅速な行動の必要性



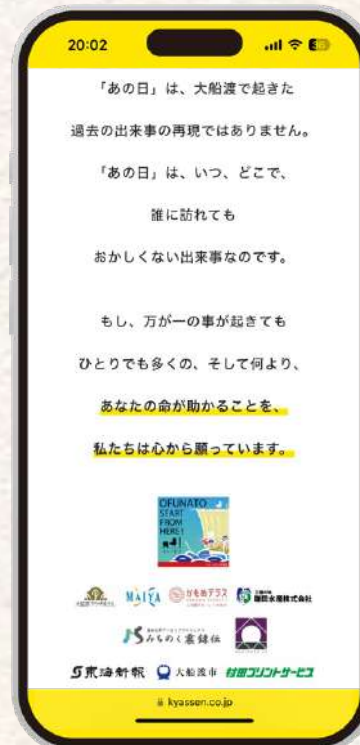
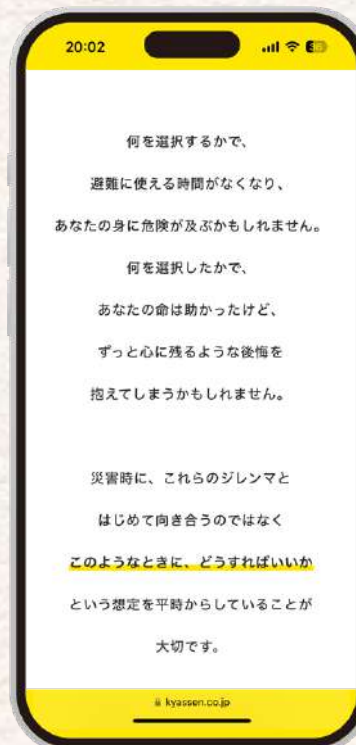
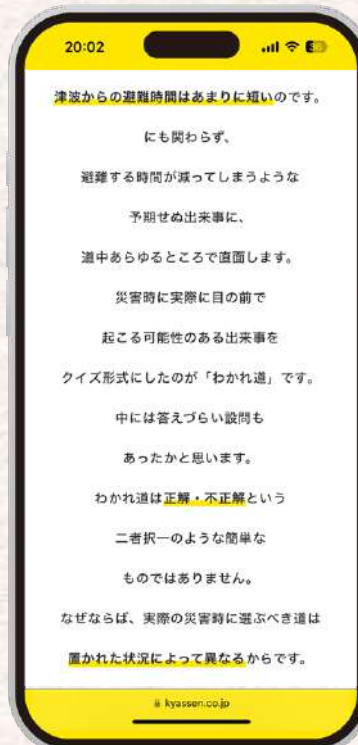
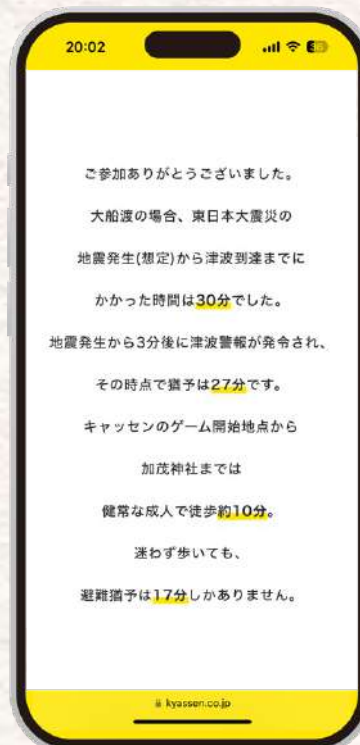
避難の道中に予期せぬ出来事に直面するが  
正解・不正解という簡単なものではない  
→災害現場の葛藤を擬似体験

多様な気づきを獲得する  
**充実の120分**  
(プレイ時間60分+準備・振り返り60分)



こんなときどうするか、どうすればいいか、想定を平時からしていることが大切

エンディングメッセージ  
※ゲーム画面





「あの日」ゲームは、すでにたくさんの方々が体験。教育旅行、団体旅行、視察のお手伝いをしています。

## 教育旅行関連

- ・静岡県の中学校【106名】
- ・岩手県沿岸部の中学校【23名（2022年）・58名（2023年）】
- ・神奈川県の高校【73名（2022年）・66名（2023年）】
- ・東京都の中学校【24名（2022年）・38名（2023年）】
- ・岩手県内陸部の高校【40名（2022年）・41名（2023年）】
- ・岩手県内陸部の高校【77名】

## 大学関係

- ・東京都立大学 学生団体【東京都／13名】
- ・立命館大学 学生団体【京都府／19名】
- ・明治大学 学生団体【東京都／13名】
- ・中京大学 学生団体【愛知県／6名】

## 団体視察、旅行関連

- ・岩手県内震災伝承者【岩手県／15名】
- ・みちのく復興デザインセンター【岩手県／5名】
- ・内閣府関連モニターツアー【20名】
- ・あの日体験会【20名（2022年）・66名（2023年）】
- ・岩手県男女共同参画センター体験講座【岩手県／24名】
- ・岩手大学都市・地域デザイン研究室視察【岩手県／5名】
- ・大船渡市応援職員復興報告会【岩手県／40名】
- ・大船渡市・住田町連携インバウンド体制整備事業【岩手県／11名】
- ・三陸DMO教育旅行招へい事業【6名】
- ・岩手県議会東日本大震災津波復興特別委員会視察【岩手県／10名】
- ・あの日モニターツアー【総計70名（2回）】
- ・旅行企画「恋する大船渡」【総計96名（複数回）】

## 体験者の声 参加者へのアンケートより

ニュース等で話は何度も聞く事はありませんが、実際の被災地で自分でその地を見ながら、経験された方々の話を直接聞く事ができて、重みが伝わり、新たな気づきとなりました。

災害教育においては「まじめな内容であるからまじめに学ばなくてはならない」というような固定観念が強いと思うのですが、「この経験と教訓を本当に次の世代に伝えなければいけない」と考えたからこそ外面にとられない「あそび」という面から企画を構成されたという点で、被災された方、企画に関わられた方の真剣さ、熱意が伝わってきました。

実際に震災が起こった時は、パニックに陥り、ゲームの中で選んだ選択とは違う選択をして、逃げ遅れてしまうかもしれないと思いました。そうならないためにも、いきる知恵を時々見返して、心に留めておきたいと思います。

外出先での避難ということは想像したことがなく、実際の34分と避難の難しさがわかりました。防災という点では、時間内に「いきる知恵」を探し、数々の「わかれ道」で悩むこともありながら、実際に避難場所まで逃げなければならないという点が、ただ地図を眺めたり、お話を聞いたりするだけでは想像できない部分まで考える事ができ、より実践的に防災意識を見直すきっかけになりました。

実際に東日本大震災を経験された方による「教え」には重みがあり、震災の教訓を未来の災害に生かしてほしいという熱い想いを感じました。クイズ形式の部分では、災害時に起こりうる設定がリアルであったため、自分だったらどうするかを考え、具体的な状況をイメージしながら参加することができました。

震災による地震は実際に経験しましたが、津波となるとやはりどこか遠くのこのように感じていたので、限られた時間の中で避難することを体験することで、津波を身近に感じる事ができました。実際に津波を経験した方々の言葉を聞き、当時そこで生活されていた方々が突如津波に襲われる恐怖を改めて実感しました。

アドベンチャーのなかで、「いきる知恵」として震災を経験した方の声を聞く事ができるのは貴重な機会になると感じました。少し訛っていたところもありましたが聞き取るのが難しいというほどではなく、その具体的な内容や素朴な語り口からは、真に迫ったリアルさを感じとても印象に残りました。

アドベンチャーゲーム形式で津波からの避難を体験できるというのは、非常に面白かったです。実際に東日本大震災を経験していない世代でも比較的容易に体験ができるのも良い点だと感じました。後世に津波被害と避難を伝えていくために、この体験型のアドベンチャーゲームはとても良い手法だと思いました。

これまで提供していた「あの日」体験学習に事前・事後学習を追加しアップグレード  
事前学習で歴史を、ゲームで震災を追体験、事後学習で「備え」を学ぶ体系的学習プログラム





事前学習ワークシート（A4版6枚）

PDFデータにて提供いたします

事後学習ワークシート（A4版2枚）

PDFデータにて提供いたします

「あの日」防災学習プログラム  
事前学習ワークシート

ウォーミングアップ 後小学生高学年用

・47都道府県で、海に面している都道府県はいくつありますか？  
( ) つ

・学校の教室で緊急地震速報が鳴ったらあなたはどうしますか？当てはまるものすべてに○を付けてください。

- ① 窓から離れる
- ② 机の下に隠れる
- ③ 机の脚を持つ（膝のポーズ）
- ④ 先生の指示に従う
- ⑤ 頭を抱え、身を小さくする（ダンゴムシのポーズを取る）
- ⑥ 教室の扉を開ける
- ⑦ その他（ ）

・学校の外で緊急地震速報が鳴ったらあなたはどうしますか？

- ① ブロック塀から離れる
- ② 道を抱え、身を小さくする（ダンゴムシのポーズを取る）
- ③ 河川の近くにいるら河川から離れる
- ④ 広い場所に移動する
- ⑤ 地震が起きていることをみんなに知らせる
- ⑥ 海の近くにいるらすぐに海から離れる
- ⑦ その他（ ）

・震度6弱が起きた場合、あなたの家は、どのような状況になるか想像して書いてください。  
( )

参考資料：気象庁、<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/shindo/index.html>

・地震の後に津波注意報が発令されました。最大何メートルの津波が予想されるでしょうか？  
( )

参考資料：気象庁、<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html>

・揺れて、大津波警報が発令されました。あなたは海岸近くにいます。どうしますか？

- ① なるべく海岸のそばから離れる
- ② 近くの高地に避難する
- ③ 近くの避難ビルに避難する
- ④ 様子を見る
- ⑤ その他（ ）

日本の地震のこれまでと、これからを調べよう ※中学生以上

○1996年（平成8年）以降、日本で発生した「震度7」の地震はいくつありますか？ 発生した年と地震名を記載してください。

( )

参考資料：日本気象庁で発生した主な被害地震（平成8年以降） 出典：気象庁ホームページ  
(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/hgsai/hgsai1996-nsgw.html>)

○日本で今後想定される大規模地震を海溝型地震3つ、直下型地震を2つ答えなさい。

海溝型地震 ( ) ( ) ( )

直下型地震 ( ) ( )

※海溝型地震…陸のプレートと海洋のプレートの境界に位置する海溝沿いで発生する地震

※直下型地震…一般的に都市型などの直下で発生する地震で大きな被害をもたらすものを指すことが多い。地震学上の定義はない。

参考資料：地震災害 出典：内閣府防災情報のページ (<https://www.bouanai.go.jp/kyouka/hokenkyousai/jishin.html>)

○下記の文章の( ) を埋めてください。

参考資料：地震災害 出典：内閣府防災情報のページ (<https://www.bouanai.go.jp/kyouka/hokenkyousai/jishin.html>)

想定されている大規模地震にだけ注意しておけばいい？

世界のマグニチュード6.0以上の地震の約( ) 割が起きているとされる地震多発国の日本には、

北海道から九州まで、わかっているだけでも( ) もの活断層があります。

このうち、近い将来に、大きな地震を起こす可能性が高い活断層が複数指摘されています。

しかし、平成28年4月に発生した( ) 地震を引き起こした布田川断層帯のM7.0級の地震発生確率は30年以内に( ) %でした。

地下に隠れていて、まだ見つからない活断層もあるとされており、**大規模な地震が発生する可能性が高いといわれている地域だけでなく、どこで、いつ大きな地震が起きてもおかしくないのです。**

「あの日」防災学習プログラム  
事後学習ワークシート

防災×観光アドベンチャー あの日を体験し、さまざまな気づきがありました。ゲームの振り回りをしながら、平時の私たちがしておくべき「備え」について考えます。そして、みんなで話し合ってみましょう。

防災×観光アドベンチャーあの日振り回り ※自分のリザルトを見てください

・あなたの最終避難時間は何分でしたか？

( )

・行動時間と、わかれ道の選択による加算時間は何分でしたか？

行動時間 ( )

わかれ道の選択による加算時間 ( )

自分で考えて、みんなに発表しよう

【発表①】

・「いきる知恵」で印象に残ったものに丸をつけてください。それについてどのように感じたのかを記入してください。

ー「いきる知恵」は全部で17つ！ー※リザルトページで全ての「いきる知恵」を見ることが出来ます。

もしものときのために現金を持つ。 ・間違えた言い伝えで多くの人が犠牲に。 ・いのちを持ってすぐ逃げる。

自分を整え、人にもうるおいを。 ・家族でいざという時の事を話し合っておく。 ・常に備えておく。

できることはやっておいて、絶対に損はない。 ・大丈夫だ、なんて思わずとにかく逃げる。

とにかく高いところへ逃げる。 ・戻らないこと。 ・つながりをつくる。つながりをいかに。

見えない力に導かれる。 ・「てんでんこ」でとにかく急いで避難する。 ・セルフケアを見つける。

海はもちろん危ないけど、川もすごく危ない。 ・災害は予想を超えてくる。 ・自分にできることをする。

【発表②】

・あなたの「わかれ道」で印象に残ったもの、またそれについてどのように感じたのかを記入してください。

配布資料：プレイ方法説明書【参加者全員】

オリエンテーション時に配布

「何をすれば良いんだっけ？」そんな疑問からの没入離脱を防止するため、テキストベースの説明書を準備しています。



配布資料：防災観光アドベンチャー冊子【参加者全員】

「あの日」プレイ終了後に配布

学びを大船渡だけで終わらせない、手元に残りいつでも防災意識を高める解説書を配布。





スクール形式  
10～60人  
(一回転収容人数)

キャッセン大船渡「あの日」特設会場  
会場追加料金 0円

スクール形式60人までを収容可能な、キャッセン大船渡のコミュニティスペース会場。目の前には第27回緑の環境プラン大賞「第27回国土交通大臣賞」を受賞した、大船渡市の街の真ん中に四季の移ろい、草花の匂い、緑のやさしさ等、自然のやさしい側面を感じさせる千年広場がある。



10～40人  
(一回転収容人数)  
レイアウト



41～60人  
(一回転収容人数)  
レイアウト



スクール形式  
10～78人  
(一回転収容人数)

おおふなぼーと 多目的室(大船渡市防災観光交流センター)  
会場追加料金 0円

椅子のみ  
10～90人  
(一回転収容人数)

※大船渡市防災観光交流センター利用規約「13 利用料金の減免について」の(1)全額免除 ①防災(津波伝承)に関する事業にあたるため利用料金は全額免除となります。



スクール形式78人、椅子のみ90人まで収容可能。平成30年にオープンし、東日本大震災からの復興の象徴として建てられた施設。平常時は、観光情報の発信と、市民や市内外から来訪される方々との交流の場を提供するほか、津波発生時には一時的な緊急避難場所的機能を有する施設です。

スクール形式  
79～200人  
(一回転収容人数)

大船渡プラザホテル プラザホール

椅子のみ  
91～300人  
(一回転収容人数)

会場追加料金 44,000円または88,000円～  
(昼食付き割引あり)



スクール形式200人、椅子のみ300人まで収容可能。昭和58年に創業し、震災で一時休館となったが、補修後同年12月には営業を再開。2016年3月現在の場所に移転新築され、宿泊、宴会、レストラン、結婚式場などがそろった複合ホテルとして再オープン。「心のふれあいを大切に」をモットーに地元で長年愛されているホテルです。

※一回転の会場使用人数となります。人数やオプションプログラムの追加によっては二回転でより多くの参加者対応が可能な場合があります。

検討される最大参加人数にてお問い合わせください。

※施設の空き状況によってはご希望の会場をご用意することができませんので、希望する日程がありましたらお早めにお問い合わせをお願いいたします。



## 商業施設「キャッセン大船渡」ならではのオプションプログラム

キャッセン大船渡店舗店主、語り部ガイド等、あの日ゲームの「いきる知恵」の出演者が登壇し、直接語りかけます。

### 震災語り部

震災語り部、もちろん手配できます。

テナントの多くは震災前から地元大船渡で営業していた店舗。

店主たちのほとんどは、震災を乗り越えた方々です。

復興にどう向き合ってきたかをお話しいたします。

命の大切さや、助け合いのすばらしさなどの話も。

料金：語り部1人手配5,500円（税込）＋参加者1人につき200円（税込）  
（参加者全員に簡単なお土産付き）

時間：50分



鬼橋市民雑貨店  
小泉 洋

菓匠高瀬  
高橋 照直

震災ガイド  
志田 裕子

大船渡地区消防組合救命救急士  
橋本 陸  
（震災当時 大船渡中学校1年生）



## 地域内コンテンツ連携について

大船渡市内をはじめ他地域施設とのコーディネートもおまかせください！

パートナーシップ関係にある「大船渡市観光物産協会」に  
お客様の要望を速やかに共有

ワンストップ窓口（担当者）を設定し、  
プランニングのお手伝いをいたします！

出典：「教育旅行誘致用資料」P.2, 一般社団法人大船渡市観光物産協会

### 大船渡市で学ぶ教育旅行

本市は、岩手県の沿岸南部に位置し、陸中海岸国立公園の代表的な景勝地として知られる  
碓石海岸（現在、復興国立公園）や三陸沿岸の最高峰五葉山県立自然公園など、自然豊かで  
風光明媚な人口3万4千人のまちです。

夏は涼しく、また、冬にはほとんど積雪が見られず、比較的温暖な心地の良いまちです。

明治29年-明治三陸地震、昭和8年-昭和三陸沖地震、昭和35年-チリ地震、平成23年  
-東日本大震災、幾度も地震・津波により甚大な被害に遭いましたが、災害を乗り越え、市民  
一人ひとりが幸せを感じ、誇りを持てるまちとして再生するため、復興に向けて取り組んで  
いるまちです。教育旅行素材のひとつとして、海をテーマに多方面からアプローチする内容を  
ご提案いたします。



次ページ  
地域内コンテンツを紹介



## 大船渡地域内コンテンツ連携について①

### 団体旅行受入可能な食事施設

#### ラウンジサーカス（大船渡ブラザホテル）：キャッセンエリア 大船渡市大船渡町字茶屋前7-8

昭和58年に創業し、震災で一時休館となったが、補修後同年12月には営業を再開。2016年3月現在の場所に移転新築され、宿泊、宴会、レストラン、結婚式場などがそろった複合ホテルとして再オープン。「心のふれあいを大切に」をモットーに地元で長年愛されているホテルです。



さんご膳

市場定食

#### 海の幸ふるまいセンター：キャッセンエリア 大船渡市大船渡町字笹崎3-6

鎌田水産株式会社新工場近くに新たにオープン。その場で選んだお魚をお刺身にしてお召し上がりいただけます。店内にて新鮮な三陸の海産物を購入することもできます。令和2年4月にリニューアルオープンしました。



かきホタテ定食

刺身盛り合わせ定食

#### 牡蠣とワインのある店 湾岸食堂：キャッセンモール&パティオ 大船渡市大船渡町字野々田10-3

大船渡産の牡蠣を様々なメニューで堪能できるオイスターバー。一番人気は蒸し牡蠣！プリプリに蒸しあがった牡蠣がたまらない！お料理に合うワインも各種ご用意。日々、牡蠣の美味しさを追求し、通年提供できるように工夫している。

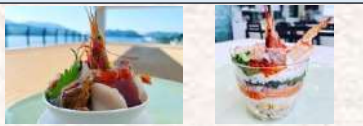


三陸産牡蠣（生牡蠣）

和定食・洋定食

#### 市場ごはん 大船渡食堂（大船渡魚市場） 大船渡市大船渡町字長沢209 大船渡魚市場3階

海鮮バーベキューは、大船渡湾を一望できるテラスでオーナー自ら料理を提供いたします。（可能人数10～15人）メニューは、ホタテ・牡蠣・イカ・大船渡産ポーク・秋刀魚など。各種料理に合う、各種日本酒・ワインも別途ご用意しております。



大船渡海鮮丼

大船渡ミルフィーユ丼

#### 碁石海岸レストハウス 大船渡市末崎町字大浜221-68

三陸復興国立公園碁石海岸内の施設です。1階がお土産店、2階が200人収容の食堂です。座席割等については事前にご相談ください。また、生ものや食物アレルギーに別メニューにて対応可能ですのでお問い合わせください。



四色丼セット

さんま重

#### 碁石給食【弁当対応のみ】

三陸の素材をふんだんに活かしたお弁当を提供します。その他、おにぎり弁当や幕の内弁当・にぎり寿司弁当もご相談に応じてお作りします。



いわて恵づくし弁当

あなごめし

### 団体旅行受入可能な宿泊施設

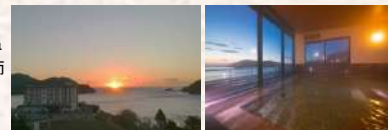
#### 大船渡ブラザホテル：キャッセンエリア 大船渡市大船渡町字茶屋前7-8

■加湿空気清浄機、独立空調、Wi-Fiを完備。シモンズ製130cmのベッドでおくつろぎいただけます。■カードキーによるエレベーターロックで、安心してお過ごしいただけます。■三陸海岸の魚介を使用したお料理を提供。和会席とイタリアンコースからお選びいただけます。



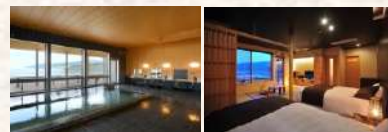
#### 大船渡温泉 大船渡市大船渡町字丸森29-1

■2021～2023温泉宿・ホテル総選挙「絶景部門」連続第1位受賞の三陸・大船渡湾と太平洋を望む眺望。■2022、2023温泉宿・ホテル総選挙「海の幸部門」連続第1位を受賞した漁師の社長自慢の漁師めし。■三陸では数少ない天然温泉。大浴場から自慢の眺望が堪能できる。特に日の出は絶景。



#### やすらぎの宿 廣洋館 大船渡市三陸町綾里字白浜95

■太平洋を一望できるプライベートビーチのように静かな白砂海岸の高台に立つ、やすらぎの宿。■三陸の美味しいお魚がメインのお食事で、小さい宿だから出来る心のこもった料理を提供しております。■心地良い音楽が流れているロビーでは、海を眺めながらゆったりとした時間を過ごせます。



### 大船渡土産物施設

#### かもめテラス：キャッセンエリア 大船渡市大船渡町字茶屋前38-1

かもめテラスは「三陸菓匠さいとう」の新たな「総本店」として2017年にオープンしました。お馴染みの「かもめの玉子」のほか、和・洋菓子、焼き立てパン工房、さいとう製菓のルーツである「斎藤餅屋コーナー」など、さまざまな商品をラインナップ。



#### 道の駅さんりく 三陸ふるさと物産センター 大船渡市三陸町越喜来字井戸洞95-27

世界的ブランドの三陸町産アワビや、特産品であるホタテ、生産量日本一のワカメや、三陸産のウニやホヤやイクラの他、市内で漁獲された四季折々旬の魚介類を豊富に販売。海産加工品や農産加工品、三陸周辺の銘菓など旅の思い出に最適なお土産も。



#### 碁石海岸レストハウス 大船渡市末崎町字大浜221-68

三陸の磯の香りたっぷりの海産物や水産加工品をはじめ、大船渡市内の銘菓や工芸品を数多く取り揃えています。人気のいかせんべいは碁石海岸レストハウスオリジナル商品。製造過程を見ることができ、焼きたての試食も可能。3種類の食べ比べがおすすめです。



大船渡地域内コンテンツの詳細は「大船渡市観光物産協会」よりご説明いたします



### 団体旅行受入可能な多彩なコンテンツ

#### 大船渡銘菓「かもめの玉子」工場見学

映像による会社概要説明後、社員が作業現場を案内・説明し、製造ラインの見学を行います。見学者には、特別にここでしか食べられないホワイトチョココーティング前のかもめの玉子ミニ（通称：焼き玉子）1個とオリジナルクリアファイルをプレゼント。



#### 大船渡魚市場見学

「水産のまち大船渡」の中核施設として平成26年4月に完成した高度衛生管理・鮮度管理に対応した魚市場。漁業・水産に関する展示施設や展望デッキなど観光拠点機能も備えています。施設見学のほかに、魚市場職員が震災時どのような対応を取ったのかなど講話の対応も可能です。



#### 三陸あわびの養殖場見学

「美味しいワカメがあるところに、美味しいあわびあり」と言われており、上質の蝦夷あわびが育つ環境があります。この環境下で、特別な生産技術を持つ元正栄北日本水産で育つ蝦夷あわびを『見て・作って・食べて』を体験することができます。



#### 水産加工工場見学（阿部長商店大船渡食品）

東日本大震災により、新工場が大きな被害を受けました。その当時の様子や復興状況、職員の平均年齢が若い大船渡工場の活力、美味しい商品ができるまでなどお話を聞きながらの工場見学ができます。



#### 漁港隣接産直施設【産直グループ】地域産品作業体験

大船渡市赤崎町合足漁港にある産直施設では、ワカメの芯抜きやホタテ剥きができるほか、地域産品のみを使用したピザづくりなどが体験できます。

施設内にある生簀の見学や、海・山・里を活用した磯遊びや畑作業など、色々な体験が可能です。



#### とれたて魚捌き体験

近年「魚離れ」と言われている子ども達を救おう！と地元お魚屋「シタボ商店」が、朝市場で水揚げされた新鮮な魚介類を自分たちで捌き食す体験を行います。お客様の年齢に合わせて、旬な素材を基に食育に迫ります。東日本大震災の様子や避難生活などの体験談を交えて食の大切さを伝えます。



#### 農業体験＆薪と御釜で炊くお米昼食

大船渡市日頃市町は、花の百名山である「五葉山」のふもとに広がる中山間地域です。自然豊かなこの地では、ホンシュウジカやカモシカやサルと出会うこともあります。素朴なあたたかさを感じる地元農家さんと農作業を体験し、薪と御釜でご飯を炊き、お米の美味しさを味わう体験です。



#### 碓石海岸穴通船遊覧

味のある漁師の船頭が運転する小型船に乗り、碓石海岸の名所「乱曝谷」、雷のような海鳴りのする「雷岩」など変化に富んだ素晴らしい景観を海上から間近に見ることができます。大船渡市のシンボル「穴通磯」は圧巻、条件が揃えば通れる洞穴くぐりはスリル満点、一度体験したらやみつきに。



#### 「震災学習列車」三陸鉄道リアス線

三陸鉄道で移動しながら震災・防災について学ぶことができる「震災学習列車」を運行しています。東日本大震災を経験した社員や地域住民の方がガイドとなり、自然の猛威、命の大切さ、人々との繋がりなどを伝えます。



#### 大船渡市内視察

東日本大震災の爪跡と復興工事が進む市内において、写真等を活用して震災学習を行います。風化させてはならない津波体験談や防災・減災への意識の持ち方など、被災地だからこそ感じ取ることができる体験です。



#### 津波伝承語り部

未来に伝え続けるのはあなたに助かってほしいから。様々な資料と語り部による被災、避難体験談など貴重なプログラムでお伝えします。皆様に、今後の備えについて一緒に考えていただきたいと思います。



#### 大船渡津波学習ウォークガイド

「津波学習マップ」を用いて、防災・減災学習まち歩きを行います。学校の方針などによる、プログラムに対するご要望などございましたら、お気軽にご相談ください。



大船渡地域内コンテンツの詳細は「大船渡市観光物産協会」よりご説明いたします



## 「あの日」の日-防災学習プログラム無料提供デイ-のお知らせ

防災の日、津波防災の日・世界津波の日および過去に津波の発生した地震の日は、「あの日」防災学習プログラムを無料にて提供いたします。  
一般の方、団体の方も含め広く体験していただくため、全員参加型のプログラムにて運用します。したがって団体の貸切予約はお受けすることができません。  
団体貸切を希望される場合は別日にて調整をお願いいたします。詳細は「あの日」防災学習プログラム事務局にお問い合わせください。

### 2024年 「あの日」の日-防災学習プログラム無料提供デイ-

※各部定員60名

- 6月15日（土） 午後の部14:00-16:00  
明治三陸地震津波の日
- 9月1日（日） 午後の部14:00-16:00  
防災の日
- 9月6日（金） 午後の部14:00-16:00  
平成30年北海道胆振東部地震の日
- 11月5日（火） 午後の部14:00-16:00  
津波防災の日・世界津波の日

### 防災学習プログラム無料提供デイ 予定日一覧

※実施については各年の施設受け入れ可能日を勘案しあらかじめ公表するものとします。

日にち (発生時間)		震度
1月1日 (16時10分頃)	令和6年能登半島地震の日	7
3月3日 (2時30分頃)	昭和三陸地震の日	5
3月11日 (14時46分頃)	平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震の日 【東日本大震災】	7
5月24日 地震発生現地時間 (5月22日15時11分)	1960 チリ地震津波の日	日本の体感震度 0
6月15日 (19時32分)	明治三陸地震津波の日	強 ※当時の震度階級 現在だと4強
9月1日	防災の日 関東地震【関東大震災】	6 ※当時の最大震度
9月6日 (3時7分頃)	平成30年北海道胆振東部地震の日	7
11月5日	津波防災の日・世界津波の日	

「あの日」防災学習プログラムをご検討の旅行主催者様、旅行業者様におかれましては、プログラム視察としてもぜひご利用ください。

「あの日」の日-防災学習プログラム無料提供デイ-  
問い合わせフォーム

<https://forms.gle/DpiQr48vs46o2D1D8>

【ご提案】防災学習効果を高めるコンテンツ連携について

私たちが提供する「あの日」防災学習プログラムは、大船渡での東日本大震災の経験を基に、ことさら避難行動にフォーカスしたプログラムです。

東日本大震災での犠牲者の死因の90%以上は津波に巻き込まれた溺死であり、このことは地震発生から津波来襲の短時間すなわち避難行動時に集中していると考えられます。

つまり、「あの日」防災学習プログラムで可視化される避難行動の成否が「命を守ること」に直結すると言っても過言ではありません。

しかし、東日本大震災では避難をした後も命を脅かすような様々な困難がたくさんありました。長きにわたる復興過程において、どのようなことがあったのか、災害史に学ぶことも非常に重要だと考えます。それはまさに、あなたが災害に直面したとき、自分の身に何が起ころのかを学ぶことになるからです。

私たちがお伝えできない多くの情報を発信する施設として、陸前高田市に「東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル」があります。

整理された情報による学びと、擬似体験による学びが相互補完することで、防災学習を効率よく深められると考えることから、東日本大震災津波伝承館に立ち寄りいただく旅行行程を実施される団体においては、私たちの提供する「あの日」防災学習プログラムの料金を割引いたします。

ぜひ、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

「東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル」（陸前高田市）連携割引

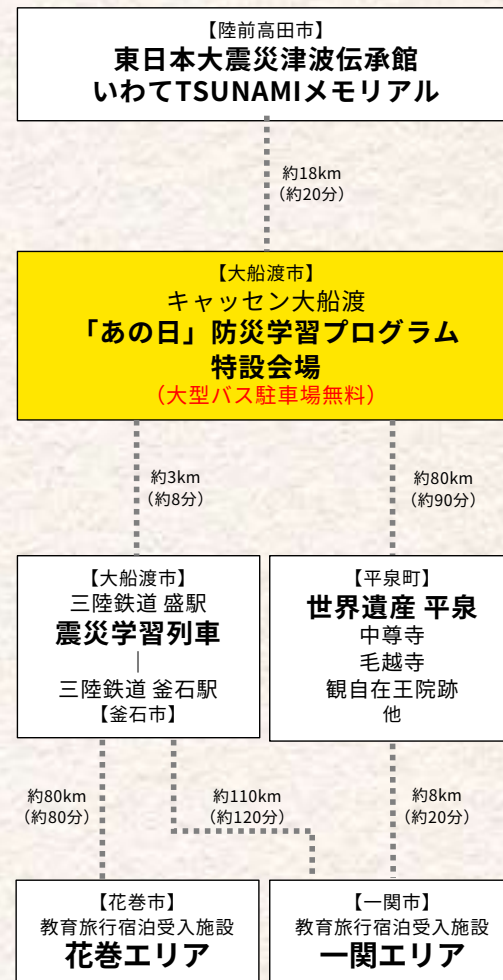
カテゴリ	対象	割引対象	1人あたり割引料金
一般団体 防災教育 旅行	団体 全員	「あの日」防災学習プログラムを含む同一旅行行程で、東日本大震災津波伝承館に入館する場合、上記の料金から200円（税抜）割引をいたします。 ※推奨は「あの日」防災学習プログラム前に入館ですが、立ち寄り順番は問いません。	220円 （税抜 200円）

「あの日」防災学習プログラムと東日本大震災津波伝承館の各コンテンツの守備範囲（イメージ）





隣町の陸前高田市「国営追悼・祈念施設」から車で約20分!!





一般団体価格

カテゴリ	対象	料金種別	1人あたり 料金	備考
一般団体	一般 大学生	通常料金	1,650円 (税抜 1,500円)	
		キャッセン大船渡 ショップチケット付 特別料金	1,650円 (税抜 1,500円)	<b>実質650円（税込）で学べます！</b> キャッセン大船渡指定店舗で利用 できる1,000円（税込）チケット付き

**キャッセン大船渡エリアショップチケットについて**  
ショップチケットは、キャッセン大船渡対象店舗にて表記する額面金券（500円（税込）チケット×2枚＝1,000円分）として利用  
することができます。額面金額未満のお会計の際にお釣りはできません。  
※お土産チケットの有効期限は、「あの日」防災学習プログラムの参加日翌日までです。お土産チケットを「あの日」防災学習プログラ  
ム料金に充当することはできません。お土産チケットは会場追加料金に充当いただけません。しかし、その際は差額分（発行予定の  
お土産チケットの総額－会場追加料金＝差額分）をお土産チケットとして発行することはできません。

防災教育旅行価格 ※学校単位でお申し込みいただいた際に適用いたします。

カテゴリ	対象	料金種別	1人あたり 料金	備考
防災教育 旅行	小学生 中学生 高校生	防災教育旅行	1,320円 (税抜 1,200円)	
		北海道・東北6県学校対象 地元割 防災教育旅行	1,210円 (税抜 1,100円)	
		大船渡市内設置学校対象 大船渡未来づくり 防災教育旅行	0円	「大船渡未来づくり割引」適用後価格 ※詳細はキャッセン大船渡まで

**小学生の参加について**  
小学生低学年以下の児童でも参加することは可能です。しかしながら、「あの日」スマホゲーム内で使用している文言が内容的に難し  
い可能性があります。キャッセン大船渡ホームページの「防災×観光アドベンチャー あの日」バナーをクリックすると【お試し版】  
ゲームを利用できますので内容をあらかじめ確認いただきご検討ください。  
※小学生高学年のプログラム参加においては、**プレイ中の安全確保人員配置が必要**になります。具体的には、「あの日」スマホゲーム内  
で避難行動をする際に**幹線道路を横断する3箇所（会場によっては4箇所）への安全確保人員配置を強く推奨**いたします。  
※プログラム参加者が、「あの日」スマホゲームを利用している場合でも、街の住民、幹線道路利用者等は平時の生活をしているため、  
交通ルールを遵守する必要があることをご理解ください。なお事務局では、本プログラムの催行においては、プレイ場所一帯の道路  
をプログラム参加者が独占的に使用するための規制いわゆる「道路使用許可」「道路占用許可」等の許可申請対象行為とならないと  
考えます。旅行引率者や教員等による人員配置のご協力をお願いいたします。事務局にて安全確保人員の手配を希望される場合は追  
加料金が発生いたします。詳細はお問い合わせください

「東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル」（陸前高田市）連携割引

カテゴリ	対象	割引対象	1人あたり 割引料金
一般団体 防災教育 旅行	団体 全員	「あの日」防災学習プログラムを含む同一旅行行程で、 東日本大震災津波伝承館に入館する場合、 上記の料金から200円（税抜）割引をいたします。  ※推奨は「あの日」防災学習プログラム前に入館ですが、 立ち寄り順番は問いません。	220円 (税抜 200円)

防災学習プログラムは120分です。

※120分より短縮で行うことは可能ですが振り返り等の説明が不足となることがあります。また、事前・事  
後学習を行わない場合はあらかじめご連絡をお願いいたします。なお、事前・事後学習のテキストが不  
要の場合においても、防災学習プログラムの料金割引はありませんのであらかじめご了承ください。

スマートフォンの準備および推奨環境

防災学習プログラムは、スマートフォンゲーム「防災×観光アドベンチャー あの日」を使用いたします。参加者  
ご自身で以下の推奨環境のスマートフォンもしくはタブレットをご準備ください。なお、プレイ中は通信回線  
を使用します。屋外のプレイエリアはWi-Fi環境がありませんので、通信可能なスマートフォンもしくはタブレット  
をご用意ください。  
スマートフォンもしくはタブレットは必ずしも1人1台必要ではありません。各班1台ずつで催行することも可能で  
す。班編成の人数目安は、スマートフォンもしくはタブレットから流れる音声聞こえる範囲での人数を推奨い  
たします。  
スマートフォン、タブレットの推奨環境は以下の通りです。  
ios：ios13以上／推奨ブラウザ：Safari  
Android OS：Android9以上／推奨ブラウザ：Google Chrome  
※推奨環境以外でのご利用や、推奨環境下でもお客様の設定によっては、ご利用できない、もしくは正し  
く表示されない場合があります。その場合はサポート対象外となりますので、同行者と一緒にプレイし  
ていただくなどの措置をお願いする場合があります。  
※スマートフォンもしくはタブレットの不具合による「あの日」スマホゲームがご利用できない、正しく  
表示されない、中断、不成立等の発生につきましては、下記の「防災学習プログラムの中止、中断  
について」の中止、中断による返金要件にはあたりませんのであらかじめご了承ください。

キャンセルポリシー

予約確認書を送付後、お客様の都合でキャンセルされる場合は次の金額を申し受けます。  
防災学習プログラム催行日の前日から起算してさかのぼって、  
1) 11日目にあたる日以前のキャンセル 無料  
2) 10日目にあたる日以降のキャンセル 防災学習プログラム全体金額の20％  
3) 7日目にあたる日以降のキャンセル 防災学習プログラム全体金額の40％  
防災学習プログラム催行日の前日、当日、  
4) 前日、当日のキャンセル 防災学習プログラム全体金額の100％  
※事前納付されていない場合は、キャンセル料としてご請求いたします。事前納付の場合は、上記金額を  
差し引いて返金いたします。  
※上記キャンセルポリシーは、「あの日」防災学習プログラムに対してのものです。会場追加料金、昼食手配、語  
り部手配等のオプション利用については手配先のキャンセルポリシーが適用となりますのであらかじめご了承  
ください。

防災学習プログラムの中止、中断について

以下の場合により事務局は、防災学習プログラムの催行が不可能もしくは困難であると判断した場合、防災学習  
プログラムの中止、中断をすることがあります。  
1) 防災学習プログラムを催行する施設が利用できなくなった場合および催行に不適切と事務局が判断した場  
合。 2) 政府、行政、および公的機関による防災学習プログラムを催行する施設利用の自粛要請、自粛検討、  
自粛命令、中止要請、中止検討、中止命令などにより事務局が催行は適切ではないと判断した場合。 3) 不  
可抗力的事由により催行ができなくなった場合もしくは催行が適切でないと判断した場合。不可抗力的事由と  
は、台風、豪雨、暴風、水害、地震などを含む天災地変、疫病、公衆衛生リスク、交通機関の遅延・運休、戦  
争、内乱、テロ、ストライキその他、事務局の責めによらない事由を指します。  
この場合は防災学習プログラム料金を請求いたしません。事前納付の場合は全額を返金いたします。また、中止、  
中断に関連して防災学習プログラム以外に発生する費用に関して事務局は一切の責任を負わないものとします。

免責事項・保険について

防災学習プログラムでは「あの日」スマホゲームにおいて、一般市民の生活区域いわゆる生活圏にて、QRボッ  
クスの探索、疑似避難体験等の野外活動を行いますので、怪我や危険発生の可能性があります。その発生の可  
能性は完全に排除できるものではないことから、それらが最小限になるように守るべき諸事項・指示等の説明  
を行います。それに従わないことにより、また参加者自らの健康状態もしくは過失・事故により何らかの被害  
・怪我を被ったとしても、事務局・関係者・キャッセン大船渡は一切の責任を負いかねます。万が一の場合、  
必要に応じた医療・行政機関への連絡、可能な限りにおいて輸送を行います。保障・責任・賠償は負いかね  
ます。参加者において国内旅行保険等へ加入をお願いいたします。



**Q. 「あの日」スマホゲームとあるが、タブレットは対応していますか？**

A. 推奨環境を満たせばタブレットでのプレイも可能です。なお、プレイ中は通信回線を使用します。屋外のプレイエリアはWi-Fi環境がありませんので、通信可能なスマートフォンもしくはタブレットをご用意ください。

**Q. 「あの日」防災学習プログラムに参加する生徒（児童）は1人1台スマートフォンを持つ必要がありますか？**

A. スマートフォンもしくはタブレットは必ずしも1人1台必要ではありません。各班1台ずつで催行することも可能です。班編成の人数目安は、スマートフォンもしくはタブレットから流れる音声聞こえる範囲での人数を推奨いたします。

**Q. スマートフォンもしくはタブレットを事務局からレンタルできますか？**

A. 事務局でレンタルは行っていません。キャッセン大船渡内の携帯電話ショップをご紹介することは可能ですが、金額、レンタル条件等は直接ショップとお話してください。もちろんお客様のお取引のある業者からレンタルしていただいても構いません。

**Q. 雨天の場合は防災学習プログラムは行いますか？**

A. 災害は雨天でも起こる可能性があることから原則催行します。ただし、以下の「判断基準」に該当する場合は野外活動を屋内代替プログラムにて実施いたします。

【野外活動を屋内代替プログラムにする判断基準】

- ① 大船渡市内に大雨警報発令
- ② 雷光・雷鳴による雷を察知した場合、もしくは雷光・雷鳴がなくなってから30分を経過していない場合
- ③ 野外活動で想定する行動経路が使用不可能、または凍結、積雪等により危険と判断される場合

また、次の旅行行程に影響がある等で雨天時の野外活動が好ましくない事情をお持ちの場合はあらかじめご相談ください。

**Q. 「あの日」防災学習プログラムの中止、中断について（前ページ参照）に該当し中止となる場合、代替プログラムはありませんか？**

A. 「あの日」防災学習プログラムの中止、中断についてに該当する事由が発生した場合、もしくは事由発生が見込まれる場合は速やかにご連絡をするとともに、大船渡市観光物産協会と連携しながら、その時点で催行可能な代替プログラムをご提案いたします。

例) 「あの日」防災学習プログラムのプレイエリアであるキャッセンエリアがテロ行為によって使用不可能となっているが、お客様は予定旅行行程通り、大船渡市に直地している（着地見込みの）場合、など。

「あの日」防災学習プログラムを含む、  
大船渡地域コンテンツ連携の利用検討等、  
旅行プランニング全般のお問い合わせ

### 問い合わせ先

一般社団法人大船渡市観光物産協会

E-mail : [sanriku\\_ofunato@dolphin.ocn.ne.jp](mailto:sanriku_ofunato@dolphin.ocn.ne.jp)

TEL : 0192-21-1922

FAX : 0192-47-3416

〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字茶屋前7番地6  
おおふなぼーと(大船渡市防災観光交流センター)1階

営業時間 AM9:00～PM18:00

定休日 年末年始

「あの日」防災学習プログラム内容について、  
「あの日」防災学習プログラムのみの利用  
についてのお問い合わせ

### 問い合わせ先 「あの日」防災学習プログラム実施主体

「あの日」防災学習プログラム事務局

一般団体

問い合わせフォーム

<https://forms.gle/5KCrXkW6dETHcVD58>

学校・教育関係者

問い合わせフォーム

<https://forms.gle/rfiCqHeTTFHveHYXA>

無料体験デイ

問い合わせフォーム

<https://forms.gle/DpiQr48vs46o2D1D8>

旅行者

問い合わせフォーム

<https://forms.gle/xFaEJ4r9ATkSd7XG7>

株式会社キャッセン大船渡

Mail : [info@kyassen.co.jp](mailto:info@kyassen.co.jp)

FAX : 019-22-7910